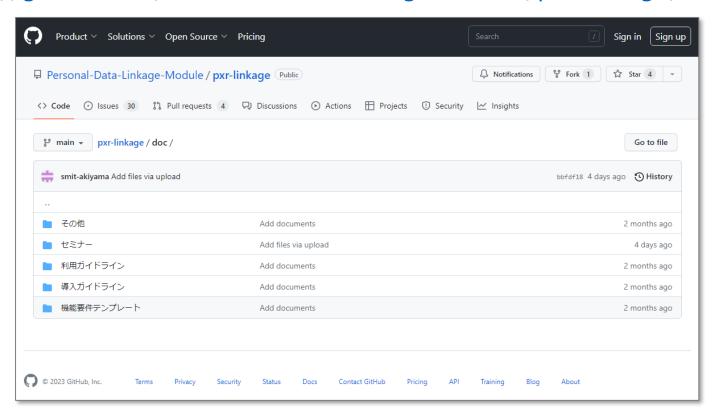
ご案内



● 本日のセミナー資料はGitHub上で公開しております。以下URLからご確認ください。

https://github.com/Personal-Data-Linkage-Module/pxr-linkage/tree/main/doc



● セミナーは13:00に開始します。時間までしばらくお待ちください。

第4回 エリア・データ連携基盤 技術セミナー ~パーソナルデータ連携モジュール(接続事業者様向け)編~

2023年6月29日



はじめに



● 本日の流れ

13:00~ 13:05 開会あいさつ、DSAの活動紹介

14:25~ 15:00 質疑応答

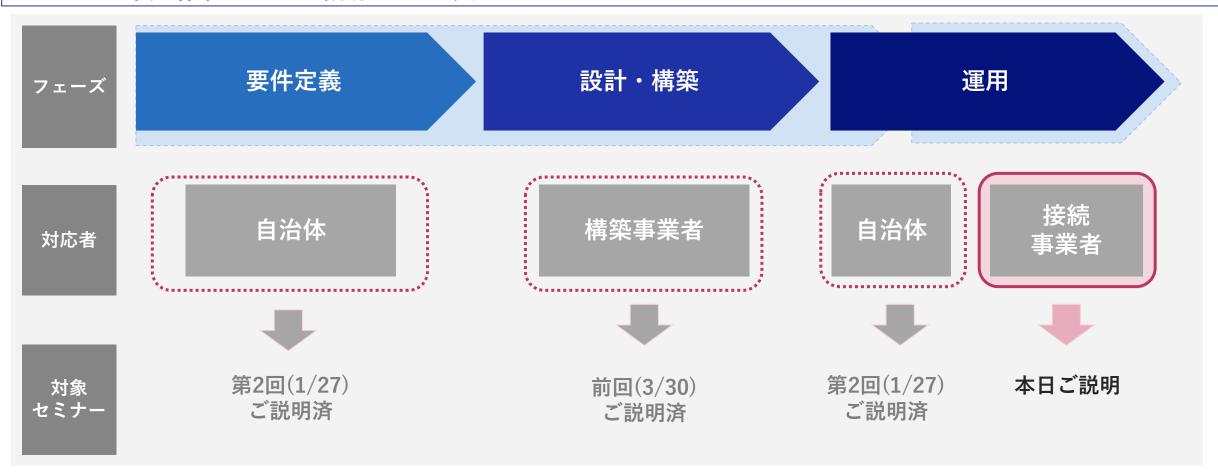
● ご連絡事項

- 本説明会は、今後の普及管理のために録画させて頂きます。あらかじめご了承頂けますよう、よろしくお願いいたします。
- ご質問事項は、Zoomの『QA』にて随時お送りください。説明終了後の質疑応答お時間にて、まとめて回答いたします。 (時間の都合により当日回答しきれない場合は、後日メールにて参加者様向けに回答とさせて頂きます。)

本日のご説明について



- ◆ 前回のセミナーでは、構築事業者様がパーソナルデータ連携基盤を構築するために必要な作業についてご説明しました。
- ◆ 本日のセミナーはこの続きとして、前回構築したパーソナルデータ連携基盤に接続事業者が接続してデータを蓄積・共有する ために必要な作業についてご説明いたします。



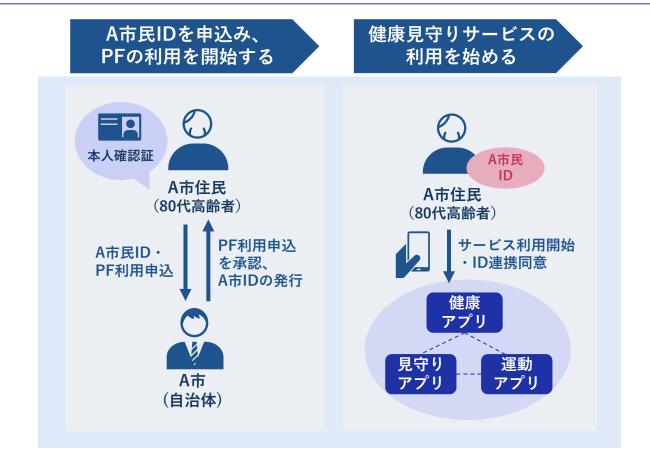
想定ユースケース例:A市における独居高齢者の健康見守りサービス



- ◆ 前回セミナーと同じ「パーソナルデータ連携基盤を利用したA市における住民サービスの提供」というユースケースに沿って APIの利用方法をご説明いたします。
- ◆ パーソナルデータ連携基盤を利用する住民には、住民ポータルからA市民IDを発行します。高度な住民サービスとして独居高齢者向けの健康見守りサービスを提供開始し、A市民ID連携同意を経て住民がサービス利用を開始します。

独居高齢者向けの 健康見守りサービスを開始する





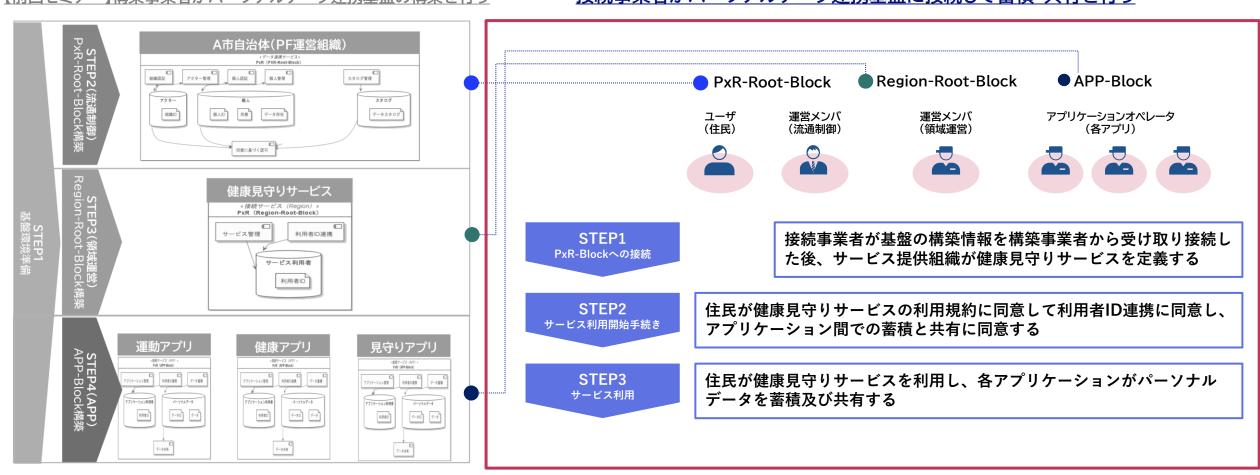
本セミナーにおける作業の全体フロー



- ◆ 接続事業者がパーソナル連携基盤に接続してサービスを定義する流れについてご説明します。(STEP1)
- ◆ また、定義したサービスを実際に住民が利用する流れについてもご説明します。(STEP2、3)

【前回セミナー】構築事業者がパーソナルデータ連携基盤の構築を行う

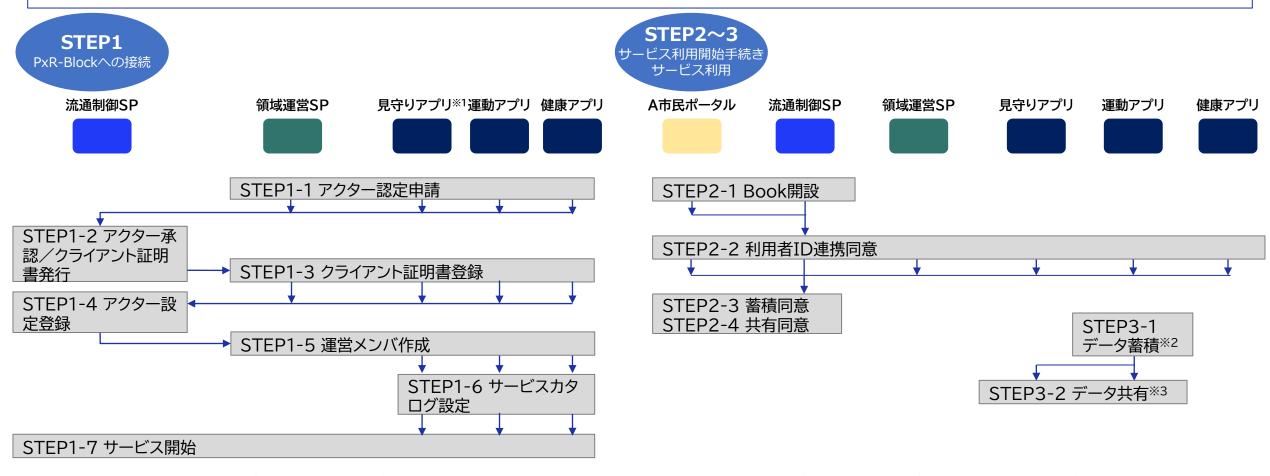
接続事業者がパーソナルデータ連携基盤に接続して蓄積・共有を行う



作業後の状態(ゴール)-全体イメージ



- ◆ 各STEPの作業内容は以下のとおりで、A市住民が健康見守りサービスを利用する場面まで実施します。
- ◆ 接続事業者様にて実際に作業される際は、それぞれの環境に応じた設定値を適用してください。



※1 前回セミナーでは運動アプリのみ構築しましたが、本セミナーは 見守りアプリも構築済みという前提でご説明します。 ※2 本セミナーでは運動アプリにおける活動量データの蓄積のみ抜粋してご説明します。 ※3 本セミナーでは運動アプリから見守りアプリへの共有のみ抜粋してご説明します。

接続作業後の状態(ゴール)-設定パラメータ



- ◆ 本事例の中で実行したコマンドは別紙の手順詳細資料に記載しております。
- ◆ 接続事業者様にて実際に作業される際は、それぞれの環境に応じた設定値を適用してください

例:接続事業者向けセミナー STEP1-3手順詳細.xlsx 手順13-1-1



実行した結果の写し

各作業STEPの概要及び参照ドキュメント(STEP1)



◆ 各作業STEPにおける手順概要と対象PxR-Block及び本作業事例のアウトプットとして提供するドキュメントは下記の通りです。

作業STEP	No	作業	作業概要	PxR- Root- Block	Region- Root- Block	APP- Block	本構築事例の作業結果 ※以降、各章での説明にて詳細を記載	参照ガイド
	1-1	アクター認定申請	接続事業者がサービスのアクターを申請 する		0	0	接続作業エビデンス(コマンド/結果)接続事業者向けセミナー_API設定パラメータ一覧.xlsx	パーソナルデータ連携モジュール_利用設定手順書
	1-2	アクター承認/ク ライアント証明書 の発行	PF運営組織がアクター申請を承認してク ライアント証明書を発行する	0			接続作業エビデンス(コマンド/結果)接続事業者向けセミナー_API設定パラメーター覧.xlsx	パーソナルデータ連携モジュール_利用設定手順書
	1-3	クライアント証明 書登録	接続事業者がクライアント証明書を登録する		0	0	接続作業エビデンス(コマンド/結果)接続事業者向けセミナー_API設定パラメータ一覧.xlsx	パーソナルデータ連携モジュール_利用設定手順書
STEP1 PxR-Blockへの接続	1-4	アクター設定登録	PF運営組織が確定したアクターコードを EKS マニフェストに設定する	0			接続作業エビデンス(コマンド/結果)接続事業者向けセミナー_API設定パラメータ一覧.xlsx	パーソナルデータ連携モジュール_利用設定手順書
	1-5	運営メンバ作成	PF運営組織が運営メンバを作成する	0			接続作業エビデンス(コマンド/結果)接続事業者向けセミナー_API設定パラメーター覧.xlsx	パーソナルデータ連携モ ジュール_利用設定手順書
	1-6	サービスカタログ 作成	接続事業者がRegionを定義して開始申請 し、PF運営組織がRegionの開始を承認す る	0	0	0	接続作業エビデンス(コマンド/結果)サンプルカタログファイル接続事業者向けセミナー_API設定パラメータ一覧.xlsx	パーソナルデータ連携モジュール_アプリケーション開発ガイド
	1-7	サービス開始	接続事業者がサービスの開始申請してPF 運営組織が承認する。	0	0	0	接続作業エビデンス(コマンド/結果)接続事業者向けセミナー_API設定パラメーター覧.xlsx	パーソナルデータ連携モジュール_アプリケーション開発ガイド

参照ドキュメントの公開先(GitHub)

URL:<u>https://github.com/Personal-Data-Linkage-Module/pxr-linkage/tree/main/doc/セミナー/20230629_パーソナルデータ連携モジュール_セミナー資料(接続事業者様向け)</u>

各作業STEPの概要及び参照ドキュメント(STEP2~3)



◆ 各作業STEPにおける手順概要と対象PxR-Block及び本作業事例のアウトプットとして提供するドキュメントは下記の通りです。

作業STEP	No	作業	作業概要	PxR- Root- Block	Region- Root- Block	APP- Block	本構築事例の作業結果 ※以降、各章での説明にて詳細を記載	参照ガイド
	2-1	Book開設	住民がMy-Condition-Bookを開設してサービス利用規約に同意する	0			接続作業エビデンス(コマンド/結果)接続事業者向けセミナー_API設定パラメータ一覧.xlsx	パーソナルデータ連携モジュール_アプリケーション開発ガイド
STEP2	2-2	アプリケーション 利用者ID連携	住民がアプリケーション利用者ID連携に 同意する	0	0	0	接続作業エビデンス(コマンド/結果)接続事業者向けセミナー_API設定パラメータ一覧.xlsx	パーソナルデータ連携モジュール_アプリケーション開発ガイド
サービス利用開始手続き	2-3	蓄積同意	住民がデータの蓄積に同意する	0			接続作業エビデンス(コマンド/結果)接続事業者向けセミナー_API設定パラメータ一覧.xlsx	パーソナルデータ連携モジュール_アプリケーション開発ガイド
	2-4	共有同意	住民がデータの共有に同意する	0			接続作業エビデンス(コマンド/結果)接続事業者向けセミナー_API設定パラメータ一覧.xlsx	パーソナルデータ連携モジュール_アプリケーション開発ガイド
STEP3 サービス利用	3-1	データ蓄積	住民が運動アプリを利用して活動量データを蓄積する	0	0	0	接続作業エビデンス(コマンド/結果)接続事業者向けセミナー_API設定パラメータ一覧.xlsx	パーソナルデータ連携モジュール_アプリケーション開発ガイド
	3-2	データ共有	住民が見守りアプリを利用し運動アプリ から活動量データの共有を受ける	0	0	0	接続作業エビデンス(コマンド/結果)接続事業者向けセミナー_API設定パラメータ一覧.xlsx	パーソナルデータ連携モジュール_アプリケーション開発ガイド

参照ドキュメントの公開先(GitHub)

URL: https://github.com/Personal-Data-Linkage-Module/pxr-linkage/tree/main/doc/セミナー/20230629 パーソナルデータ連携モジュール セミナー資料(接続事業者様向け)

サンプルカタログファイルについて



◆ 本事例において作成したカタログをサンプルとして公開しています。

カタログファイル名	説明	対象STEP
モノデータカタログ(運動アプリ)(運動レポート).json	APP1:運動アプリで取り扱う運動レポートデータのモノデータカタログを作成する際に利用	
モノデータカタログ(運動アプリ)(活動量).json	タロクを作成する際に利用	310 Z T
イベントデータカタログ(運動アプリ)(運動レポート).json	APP1:運動アプリで取り扱う運動レポートデータのイベントデータカタログを作成する際に利用	
イベントデータカタログ(運動アプリ)(活動量).json	APP1:運動アプリで取り扱う活動量データのイベントデータカタログを作成する際に利用	
蓄積定義カタログ(運動アプリ).json	APP1:運動アプリがデータ蓄積するための蓄積定義を設定する際に利用	
モノデータカタログ(見守りアプリ)(電力使用量).json	APP2:見守りアプリで取り扱う電力使用量データのモノデータカタログを作成する際に利用	
モノデータカタログ(見守りアプリ)(会話内容).json	APP2:見守りアプリで取り扱う会話内容データのモノデータカタログを作成する際に利用	
イベントデータカタログ(見守りアプリ)(電力使用量).json	APP2:見守りアプリで取り扱う電力使用量データのイベントデータカタログを作成する際に利用	
イベントデータカタログ(見守りアプリ)(会話内容).json	APP2:見守りアプリで取り扱う会話内容データのイベント データカタログを作成する際に利用	
蓄積定義カタログ(見守りアプリ).json	APP2:見守りアプリがデータ蓄積するための蓄積定義を設定する際に利用	
共有定義カタログ(見守りアプリ).json	APP2:見守りアプリがデータ共有するための共有定義を設定する際に利用	S16-3-20

本セミナーにて、ご提供するカタログについてはサンプルの位置づけとなります ご了承の上、ご利用ください

サンプルカタログファイルの公開先(GitHub)

URL: https://github.com/Personal-Data-Linkage-Module/pxr-linkage/tree/main/doc/セミナー/20230629_パーソナルデータ連携モジュール_セミナー資料(接続事業者様向け)/サンプルカタログファイル

手順概説

STEP1 PxR-Blockへの接続

本セミナー資料での手順説明の流れについて



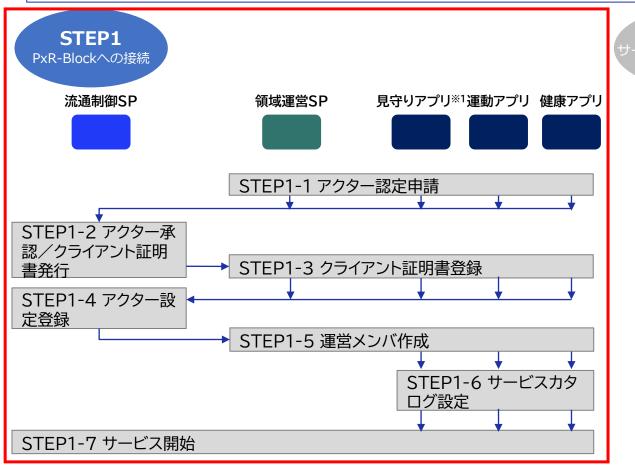
- ◆ 各STEP毎に作業一覧(項目とその作業に必要な資材名)を記載しています。
- ◆ 本資料内では特に注意すべきポイントに絞りスライドで説明いたします。

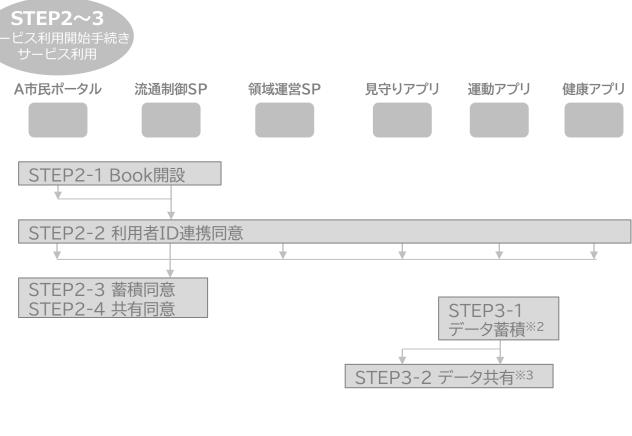


作業概要



- ◆ STEP1ではパーソナルデータ連携基盤に接続してサービスカタログを定義します。
 - ◆ 公開ガイド及び本セミナーでは、前回セミナーでは構築を省略したアプリも構築済みという前提としております。





^{※1} 前回セミナーでは運動アプリのみ構築しましたが、 本セミナーは 見守りアプリも構築済みという前提でご説明します。

^{※2} 本セミナーでは運動アプリにおける活動量データの蓄積のみ抜粋してご説明します。 ※3 本セミナーでは運動アプリから見守りアプリへの共有のみ抜粋してご説明します。

STEP1 PxR-Blockへの接続 STEP1-1 アクター認定申請 作業一覧



- ◆ PxR-Region-Block のアクターが、アクター認定申請を行う。
- ◆ STEP1-1作業一覧 対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP1-1手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
STEP1-1 アクター 認定申請	事前準備	資材入手	追加PxR-Blockでアクター認定する際に使用するリクエストパラメータを取得するために準備する	「事前準備」シート	
	S11-1	アクター認定申請 (Region)	アクター認定申請を行う追加Blockにログインする。(Region)	「SP11-1-1」シート	
			追加PxR-Blockでアクター認定申請する。 (Region)	「SP11-1-2」シート	
	S11-2 S11-3	アクター認定申請 (APP1:運動AP)	アクター認定申請を行う追加Blockにログインする。(APP1:運動AP)	「SP11-2-1」シート	
			追加PxR-Blockでアクター認定認定申請する。(APP1:運動AP)	「SP11-2-2」シート	
		アクター認定申請 (APP2:見守りAP)	アクター認定申請を行う追加Blockにログ インする。(APP2:見守りAP)	「SP11-3-1」シート	
			追加PxR-Blockでアクター認定申請する。 (APP2:見守りAP)	「SP11-3-2」シート	
	STEP1-1 動作確認	申請情報の取得	curlコマンドによるアクター認定申請取得	「STEP1-1動作確 認」シート	

STEP1 PxR-Blockへの接続 STEP1-2 アクター承認/クライアント証明書の発行 作業一覧



- ◆ PxR-Root-Block のアクターが、認定申請に対する認定承認、およびクライアント証明書のダウンロードを行う。
- ◆ STEP1-2作業一覧

対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP1-2手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
STEP1-2 アクター	S12-1-1	ログイン	アクター認定申請通知を取得するため、追加 PxR-Blockにログインする。(Region)	「S12-1-1」シート	
認定承認/	S12-1-2	証明書アップロード	アクター認定申請通知を取得する。 (Region)	「S12-1-2」シート	
アント証明書の発	S12-1-3	アクター認定申請承認	アクター認定申請を承認する。 (Region)	「S12-1-3」シート	
行	S12-1-4	情報取得	クライアント証明書を発行するための必要情報を取得する。(Region)	「S12-1-4」シート	
	S12-1-5	アクターコード取得	認定したアクターのアクターコードを取得する。(Region)	「S12-1-5」シート	
	S12-1-6	証明書ダウンロード	PxR-Root-Blockでクライアント証明書をダ ウンロードする。(Region)	「S12-1-6」シート	
	S12-2-1~ S12-3-6	同様の作業をAPP(運動	AP、見守りAP)に対しても実施	「S12-2-1」シート~ 「S12-3-6」シート	
	動作確認	証明書の確認	Root-Blockから発行したクライアント証明 書を確認する。	「STEP1-2動作確 認」シート	

STEP1 PxR-Blockへの接続 STEP1-3 クライアント証明書の登録 作業一覧



- ◆ 運営メンバが自分の組織に対して払い出されたPxR-Blockに対して、配布された証明書をアップロードする。
- ◆ STEP1-3作業一覧 対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP1-3手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
	S13-1-1	ログイン	PxR-Blockにログインする。(Region)	「S12-1-1」シート	
クライ アント証 明書の登	S13-1-2	申請通知取得	クライアント証明書をアップロードする。 (Region)	「S12-1-2」シート	
録	S13-2-1~ S13-3-2	同様の作業をAPP(運動)	AP、見守りAP)に対しても実施	「S13-2-1」シート~ 「S13-3-2」シート	
	動作確認 (Region)	証明書確認(Region)	アップロードしたクライアント証明書を確認する。(Region)	「STEP1-3動作確認 (Region)」シート	
	動作確認 (運動AP)		アップロードしたクライアント証明書を確認 する。(APP1(運動アプリ))	「STEP1-3動作確認 (APP1)」シート	
	動作確認 (見守り AP)	証明書確認(APP2)	アップロードしたクライアント証明書を確認する。(APP2(見守りアプリ))	「STEP1-3動作確認 (APP2)」シート	

STEP1 PxR-Blockへの接続 STEP1-4 アクター設定の登録 作業一覧



- ◆ PF運営組織が確定したアクターコードを EKS マニフェストに設定する。
- ◆ STEP1-4作業一覧

対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP1-4手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
STEP1-4 アクター	S14-1-1	アクターコード設定 (Region)	PF 設定: EKS マニフェストアクターコード 設定(Region)	「S14-1-1」シート	
設定の登 録	S14-2-1	アクターコード設定 (運動AP)	PF 設定: EKS マニフェストアクターコード 設定(APP1)	「S14-1-2」シート	
	S14-3-1	アクターコード設定 (見守りAP)	PF 設定: EKS マニフェストアクターコード 設定(APP2)	「S14-1-3」シート	
	動作確認 (Region)	証明書確認(Region)	アクターコード設定確認(Region)	「STEP1-4動作確認 (Region)」シート	
	動作確認 (運動AP)	証明書確認(APP1)	アクターコード設定確認(APP1(運動アプリ))	「STEP1-4動作確認 (APP1(運動アプ リ))」シート	
	動作確認 (見守り AP)	証明書確認(APP2)	アクターコード設定確認(APP2(見守りア プリ))	「STEP1-4動作確認 (APP2(見守りアプ リ))」シート	

STEP1 PxR-Blockへの接続 STEP1-5 運営メンバ作成 作業一覧



- ◆ PF運営組織が運営メンバを作成する。
- ◆ STEP1-5作業一覧

対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP1-5手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
運営メン	S15-1-1		運営メンバーを追加する対象の Block にロ グインする。(Region)	「S15-1-1」シート	
バ作成	S15-1-2	オペレータ追加	PxR-Root-Block でオペレーター追加 API を実行する。(Region)	「S15-1-2」シート	
	S15-2-1~ S15-3-2	同様の作業をAPP(運動)	AP、見守りAP)に対しても実施	「S15-2-1」シート~ 「S15-3-2」シート	
	動作確認 (Region)	ログイン確認(Region)	追加した運営メンバーのログイン (Region)	「STEP1-5動作確認 (Region)」シート	
	動作確認 (運動AP)		追加した運営メンバーのログイン(APP1: 運動アプリ)	「STEP1-5動作確認 (APP1(運動アプ リ))」シート	
	動作確認 (見守り AP)	ログイン確認(APP2)	追加した運営メンバーのログイン(APP2: 見守りアプリ)	「STEP1-5動作確認 (APP2(見守りアプ リ))」シート	

STEP1 PxR-Blockへの接続 STEP1-6 サービスカタログ作成 作業一覧(1/4)



- ◆ 運営メンバがサービスカタログを定義して申請し、PF運営組織が承認する。
- ◆ STEP1-6作業一覧

対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP1-6手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
STEP1-6	S16-1-1	ログイン	Regionの運営メンバーでログインする。	「S16-1-1」シート	
サービス カタログ	S16-1-2	利用規約作成	Regionの利用規約を作成する。	「S16-1-2」シート	
作成	S16-1-3	継承元情報取得	Region作成の為の継承元情報を取得する。	「S16-1-3」シート	
	S16-1-4	Region作成	Regionを作成する。	「S16-1-4」シート	
	S16-1-5	Region作成申請	Region作成申請する。	「S16-1-5」シート	
	S16-1-6	アクター情報取得	Regionのアクター情報を取得する。	「S16-1-6」シート	
	S16-1-7	アクター更新	Regionのアクターを更新する。	「S16-1-7」シート	
	S16-1-8	アクター更新申請	Regionのアクターを更新申請する。	「S16-1-8」シート	

STEP1 PxR-Blockへの接続 STEP1-6 サービスカタログ作成 作業一覧(2/4)



- ◆ 運営メンバがサービスカタログを定義して申請し、PF運営組織が承認する。
- ◆ STEP1-6作業一覧 対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP1-6手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
STEP1-6 サービス	S16-2-1	ログイン	APP1(運動アプリ)の運営メンバーでログインする。	「S16-2-1」シート	
	S16-2-2	モノデータカタログ作 成	モノデータカタログを作成する。 (運動レポート)	「S16-2-2」シート	0
	S16-2-3	モノデータカタログ作 成申請	モノデータカタログ作成申請する。 (運動レポート)	「S16-2-3」シート	
7	S16-2-4	モノデータカタログ作 成	モノデータカタログを作成する。(活動量)	「S16-2-4」シート	
	S16-2-5	モノデータカタログ作 成申請	モノデータカタログ作成申請する。 (活動 量)	「S16-2-5」シート	
	S16-2-6	ログイン	rootの運営メンバーログインする。	「S16-2-6」シート	
	S16-2-7	モノデータカタログ作 成承認	モノデータカタログを作成承認する。	「S16-2-7」シート	
	S16-2-8~ S16-2-13	同様の作業をイベントた	フタログに対しても実施	「S16-2-8」シート〜 「S16-2-13」シート	

手順S16-2-2 モノデータカタログを作成する。(運動レポート)(1/6) ATA-EX



サービス名

蓄積データ

→ データの共有関係

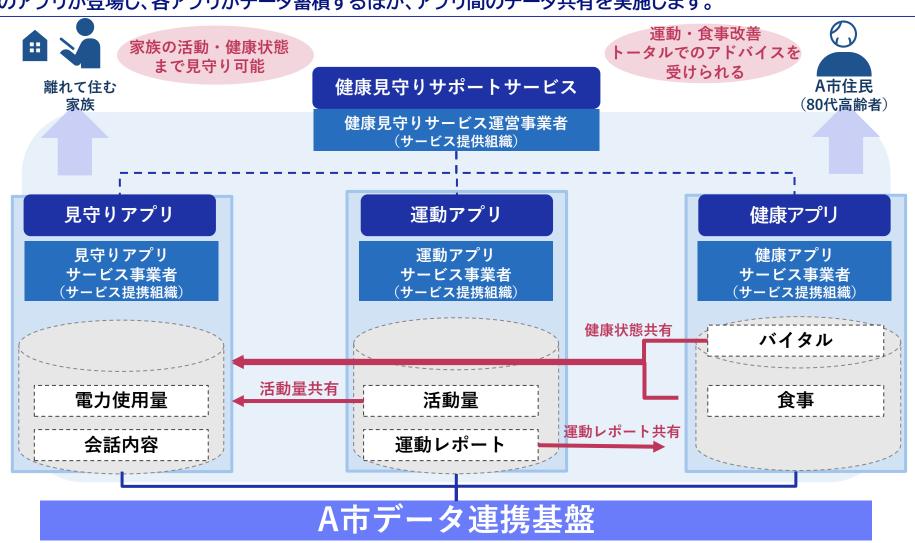
事業者名

凡例)

本ユースケースにおけるデータ連携イメージは以下の通りです。(再掲資料)

パーソナルデータ連携モジュール_セミナー資料(自治体様向け) 20230127 v2.pdfのスライド8再掲

3つのアプリが登場し、各アプリがデータ蓄積するほか、アプリ間のデータ共有を実施します。



手順S16-2-2 モノデータカタログを作成する。(運動レポート)(2/6





カタログの基本構造と定義方法については以下のとおりです。(再掲資料)

パーソナルデータ連携モジュール_説明資料_v3.pdf 6-3.カタログ管理より抜粋

- この構造と定義方法に従い、本ユースケースのデータカタログを定義します。
 - カタログの基本構造と定義方法
 - 標準的なテキストベースの構造データ表現フォーマットであるJSON形式で定義される
 - カタログテンプレートを作成し、カタログ管理機能が提供する公開APIを利用することでPxRシステム内に投入する

MCD (蓄積するデータ)

My-Condition-Book 0..n ドキュメント まとめ 0..n イベント 1..n モノ

- My-Condition-Book:個人の基本属性とドキュメントおよびイベントを格納 例)個人ID.氏名.性別.生年月日.住所.etc
- ドキュメント:個人が体験するシーンに紐づくイベントのまとまり+アドバイスな

例) 本日の診察レポート

- イベント:個人が体験するシーンを個人の基本動作に分解したもの 例)診断、検体検査、負荷検査
- モノ: イベントの中で記録、測定、評価される項目 診断病名、検査項目-値

データカタログ(MCDメタデ-タ)

- MCDに対するメタ情報を管理
 - ドキュメント、イベント、モノ定義(名前空間、基礎情報等)



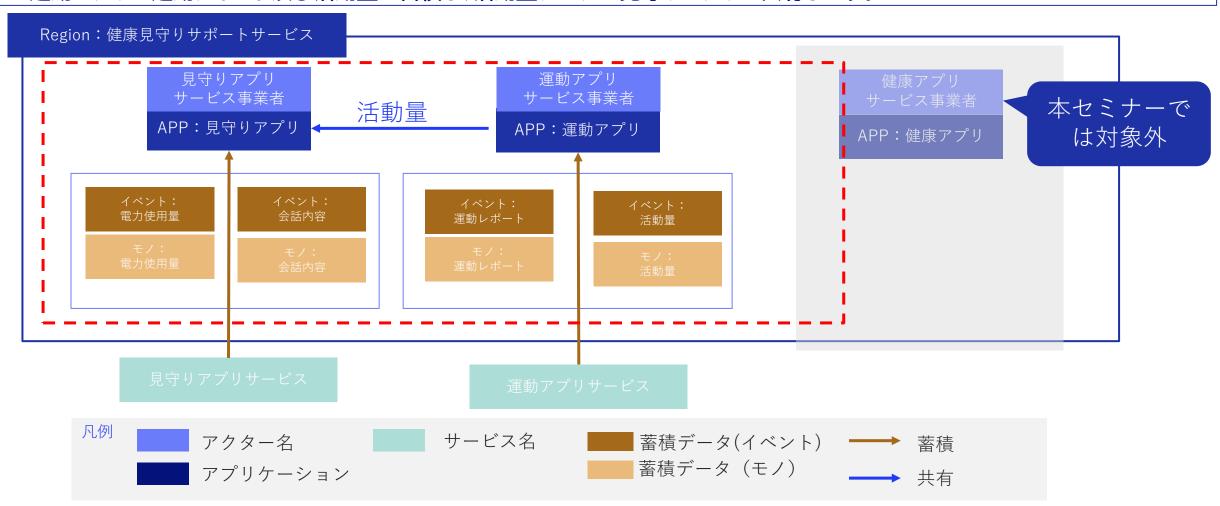
- 注意事項(他製品とのカタログ連携について)
 - CKAN等、他製品とのカタログ連携、共有は標準機能外です。よって、連携を行う場合は、上記公開 APIを経由したPxRシステムと他製品間の連携部分をカスタム開発する必要があります。

(カスタム開発例)

PxR側のカタログをAPI経由で抽出し、データ整形した上でCKAN側へ投入する等の連携処理実装

手順S16-2-2 モノデータカタログを作成する。(運動レポート)(3/6) ATA-EX

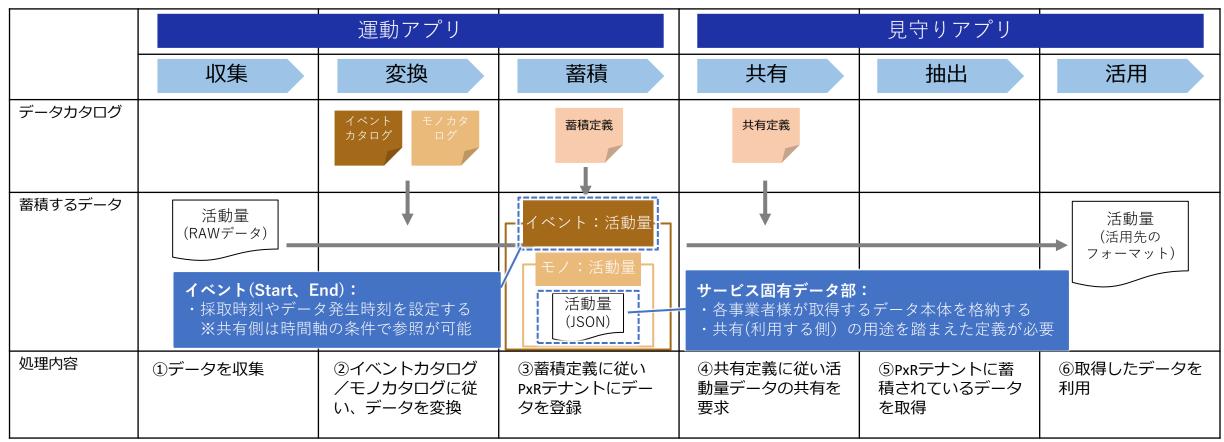
- 本セミナーにおけるサービス内で利用するデータ構成は以下のとおりです。
- 運動アプリは運動レポート及び活動量を蓄積し、活動量データを見守りアプリに共有します。



STEP1 PxR-Blockへの接続 手順S16-2-2 モノデータカタログを作成する。(運動レポート)(4/6)



- データの蓄積/共有をするために必要なデータカタログとデータの状態を以下の図に示します。
- 本モジュールはデータの受け渡し機能提供にとどまるため、データの取り扱いについては事業者間での取り決めが必要です。



運動アプリでの蓄積から見守りアプリへの共有におけるデータの状態の流れ※

STEP1 PxR-Blockへの接続 手順S16-2-2 モノデータカタログを作成する。(運動レポート)(5/6





- 前回の構築事業者様向けセミナーで構築した基盤に、モデルとなるカタログフォーマットが入っています。
- このフォーマットをカタログ作成時に継承元として指定し利用することが可能です。



■GitHub上でもカタログフォーマットを公開しています。

https://github.com/Personal-Data-Linkage-Module/pxr-linkage/tree/main/delivery/catalog/model

手順S16-2-2 モノデータカタログを作成する。(運動レポート)(6/6)



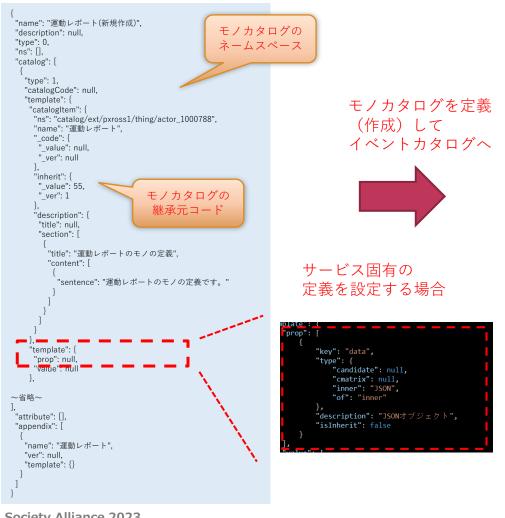




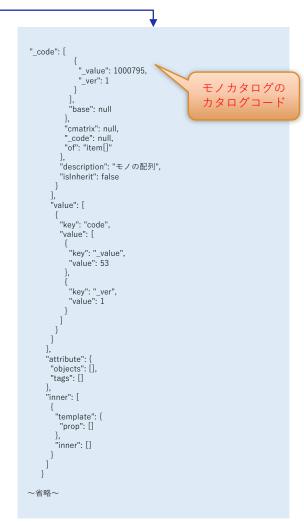
- カタログ作成する際のリクエストボディに設定する内容については以下の通りです。(運動アプリの例)
- モノカタログ→イベントカタログの順番で作成する方が少ない手順で構築することができます。

運動レポート に対する**モノカタログ**

運動レポート に対する**イベントカタログ**



```
"name": "運動レポート(新規作成)",
"description": null.
                                        イベントカタログ
"type": 0.
                                        のネームスペース
"ns": [],
"catalog": |
  "type": 1,
 "catalogCode": null
  "template": {
   "catalogItem":
    "ns": "catalog/ext/pxross1/event/actor 1000788",
    "name": "運動レポート",
    " code": {
     " value": null,
     " ver": null
    "inherit":
     "_value": 53,
                             イベントカタロ
     " ver": 1
                             グの継承元コー
    "description":
     "title": null
     "section": [
       "title": "運動レポートのイベントの定義",
       "content": [
          "sentence": "運動レポートのイベントの定義です。"
   "template": {
    "prop": [
      "key": "thing",
      "type": {
       "candidate": {
        "ns": [
         "catalog/model/thing/*"
         "catalog/built_in/thing/*",
          "catalog/ext/pxross1/thing/*"
```



STEP1 PxR-Blockへの接続 STEP1-6 サービスカタログ作成 作業一覧(3/4)



- ◆ 運営メンバがサービスカタログを定義して申請し、PF運営組織が承認する。
- ◆ STEP1-6作業一覧

対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP1-6手順詳細.xlsx

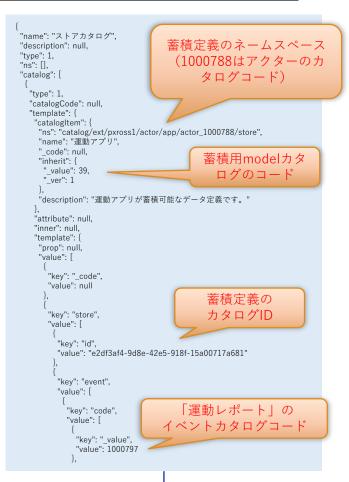
STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
STEP1-6 サービス カタログ	S16-2-14	蓄積定義	APP1(運動アプリ)のアプリケーションの 蓄積定義を設定する。	「S16-2-14」シート	0
作成	S16-2-15	アプリケーション作成	APP1(運動アプリ)のアプリケーションを 作成する。	「S16-2-15」シート	
	S16-2-16	アプリケーション作成 申請	APP1(運動アプリ)のアプリケーション作成申請する。※自己承認	「S16-2-16」シート	
	S16-2-17	アクター更新	APP1(運動アプリ)のアクターを更新する。	「S16-2-17」シート	
	S16-2-18	アクター更新申請	APP1(運動アプリ)のアクターを更新申請する。※自己承認	「S16-2-18」シート	
	S16-2-19	管理用アカウント作成	APP1(運動アプリ)のアプリケーションの 管理用アカウントを作成する。	「S16-2-19」シート	

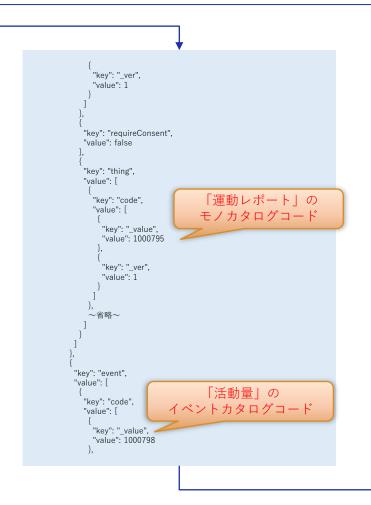
STEP1 PxR-Blockへの接続 手順S16-2-14 運動アプリのアプリケーションの蓄積定義を設定する

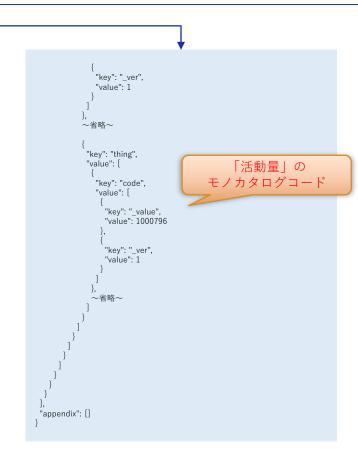


- ◆ 蓄積定義する際のリクエストボディに設定する内容については以下の通りです。(運動アプリの例)
- ◆ 蓄積定義にはイベント/モノカタログの情報が必要になるため、事前にデータカタログの定義を行っておく必要があります。

「運動アプリ」に対する蓄積定義の設定







STEP1 PxR-Blockへの接続 STEP1-6 サービスカタログ作成 作業一覧(4/4)



- ◆ 運営メンバがサービスカタログを定義して申請し、PF運営組織が承認する。
- ◆ STEP1-6作業一覧 対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP1-6手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
STEP1-6 サービス	S16-2と同 も実施	様の作業をApp2(見号	gりアプリ)データカタログに対して 	「S16-3-1」シート〜 「S16-3-19」シート	
カタログ 作成	S16-3-20	共有定義	APP2(見守りアプリ)のアプリケーションの共有定義を設定する。	「S16-3-20」シート	0
	S16-3-21	アプリケーション更新	APP2(見守りアプリ)のアプリケーション を更新する。	「S16-3-21」シート	
	S16-3-22	アプリケーション更新 申請	APP2(見守りアプリ)のアプリケーション 更新申請する。※自己承認	「S16-3-22」シート	
	動作確認 (Region)	利用規約確認	Region利用規約、Regionの作成を確認する。	「STEP1-6動作確認 (Region)」シート	
	動作確認 (運動AP)	データカタログ確認		運動アプリ)」シート	
		アプリケーション作成、 アカウント作成の確認	運動APのアプリケーション作成、アプリケーション管理用アカウント作成を確認する。	「STEP1-6動作確認-2(APP1 運動アプリ)」シート	
	動作確認 (見守り	データカタログ確認		「STEP1-6動作確認-1(APP2 見守りアプリ)」シート	
	AP)	アプリケーション確認、 アカウント作成の確認	見守りAPのアプリケーション作成、アプリケーション管理用アカウント作成を確認する。	「STEP1-6動作確認-2(APP2 見守りアプリ)」シート	

STEP1 PxR-Blockへの接続 手順S16-3-20 見守りアプリのアプリケーションの共有定義を設定する



- ◆ 共有定義する際のリクエストボディに設定する内容については以下の通りです。(見守りアプリの例)
- ◆ 蓄積定義と同様に共有定義にはイベント/モノカタログの情報が必要になるため、事前にデータカタログの定義を行っておく必要があります。

「見守りアプリ」に対する共有定義の設定

```
"name": "共有定義カタログ",
"description": null.
                               共有定義のネームスペース
"type": 1,
                               (1000801はアクターのカタ
"ns": [],
"catalog": [
                                      ログコード)
  "type": 1,
  "catalogCode": null,
  "template": {
   "catalogitem": {
    "ns": "catalog/ext/pxross1/actor/app/actor_1000801/share",
    "name": "見守りアプリ",
    " code": null,
                                    共有用modelカタロ
    "inherit": {
     " value": 40.
                                         グのコード
     " ver": 1
    "description": "見守りアプリが提供する状態共有機能の定義です。"
   "attribute": null.
   "inner": null.
   "template":
    "prop": null,
    "value": [
                                     共有定義の
      "key": "share",
                                     カタログID
      "value": [
        "value": "5a8c9ee9-8b3e-4084-ac0b-cb5df2438999"
        "kev": "role".
        "value": null
```

```
"kev": "event".
         "value": [
                                   運動アプリの「活動量|
           "key": "code",
           "value": [
                                   イベントカタログコード
             "key": "_value",
             "value": 1000798
             "key": "_ver",
             "value": 1
           "key": "requireConsent",
           "value": false
           "key": "thing",
           "value": [
             "key": "code",
                                       運動アプリの「活動量
             "value": [
                                          モノカタログコード
               "key": "_value",
               "value": 1000796
               "kev": " ver".
               "value": 1
             "key": "requireConsent",
             "value": true
・・・省略
```

STEP1 サービス利用開始手続き STEP1-7 サービス開始 作業一覧(1/2)



- ◆ 運営メンバがサービス開始を申請してPF運営組織が承認する。
- ◆ STEP1-7作業一覧

接続事業者向けセミナー_STEP1-7手順詳細.xlsx 対象ファイル

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
サービス開始	S17-1-1	ログイン	アプリケーションプロバイダー:ログイン。 (APP1:運動アプリ)	「S17-1-1」シート	
	S17-1-2	Region参加申請	アプリケーションプロバイダー:Region参加を申請する。(APP1:運動アプリ)	「S17-1-2」シート	0
	S17-1-3	ログイン	領域運営サービスプロバイダー:ログイン。	「S17-1-3」シート	
	S17-1-4		領域運営サービスプロバイダー: Region参加申請を取得する。(APP1:運動アプリ)	「S17-1-4」シート	0
	S17-1-5		領域運営サービスプロバイダー: Region参加を承認する。(APP1:運動アプリ)	「S17-1-5」シート	0
	S17-2-1~ S17-2-4	同様の作業をAPP2:見守りアプリに対しても実施		「S17-2-1」シート〜 「S17-2-4」シート	

STEP1 サービス利用開始手続き 手順S17-1-2 Region参加を申請する。(APP1:運動アプリ)



◆ Region参加申請時(本ページ)のレスポンスにidが含まれますが、承認時(次ページ)に指定するidとしては使わず、別コマンドでidを取得する必要があります。

資料フォルダ

¥¥接続事業者向けセミナー STEP1-7手順詳細.xlsx

S17-1-2 シート

作業の概要説明

アプリケーションプロバイダー: Region 参加を申請する。(APP1: 運動アプリ)

必要なパラメ<u>ータ一覧</u>

なし

ポイント

アプリケーションプロバイダーによるRegion 参加申請時のレスポンスで返却される"id"は、承認時の手順では使用しない。

※レスポンスの赤字部分

実行レスポンス例

{"id":1,"region":{"code":1000794,"version":1},"actor":{"code":1000788,"version":2,"app":[{"code":1000800,"version":1}]},
"isDraft":false,"applicantDate":"2023-06-06T13:50:27.223+0900","expireAt":"2023-06-13T13:50:27.355+0900"}

STEP1 サービス利用開始手続き 手順S17-1-5 Region参加を承認する。(APP1:運動アプリ)



資料フォルダ

¥¥接続事業者向けセミナー_STEP1-7手順詳細.xlsx

S17-1-4、S17-1-5 シート

作業の概要説明

領域運営サービスプロバイダー: Region 参加を承認する。 (APP1: 運動アプリ)

ポイント

領域運営サービスプロバイダーによるRegion参加承認時は、 Region参加申請の取得APIで対象の"id"を確認すること

※レスポンスの赤字部分

(申請時の"id"とは異なるので注意が必要)

S17-1-4 実行レスポンス例

```
[{"id":35,"type":1,"title":"参加要求","content":"参加を要求します
","attribute":{"region":1000794,"actor":1000788,"app":[1000800]},"category":{"_value":120,"_ver":1},"from":{"blockCode":
1000785,"operatorId":34,"actor":{"_value":1000788,"_ver":1}},"approval":{"operatorId":0,"status":0,"approvalAt":null,"ex
pirationAt":"2023-06-13T13:50:29.136+0900"},"readAt":null,"sendAt":"2023-06-06T13:50:29.137+0900","is_transfer":false}]
```

S17-1-5 実行コマンド例

```
curl --include ¥

-X PUT ¥

-H 'Content-Type: application/json' ¥

-H 'Accept: application/json' ¥

-H 'x-xsrf-token:Z1N2ZzR7-LdUZ-uqq0DG2idlC4gdY8scxiP4' ¥

-b 'operator_type3_session=23f26f1c5d9eeb4cdc6e50481f6fbf7b4c3f1279d098ef9b9ae11a1eda6e9857' ¥

-b '_csrf=M_WKqc-IOIh0kTHjSXUvhDvZ' ¥

-b '_f"id":35,"status":1,"comment":"運動アプリのRegion参加を承認します。"}' ¥

'https://region0000001.pxross1.<DNS名>/pxr-block-proxy/pxr-block-proxy/?path=%2Fnotification%2Fapproval'
```

STEP1 サービス利用開始手続き STEP1-7 サービス開始 作業一覧(2/2)



- ◆ 運営メンバがサービス開始を申請してPF運営組織が承認する。
- ◆ STEP1-7作業一覧

対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP1-7手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
STEP1-7 サービス 開始	S17-3-1	Region開始申請	領域運営サービスプロバイダー:Region開始を申請する	「S17-3-1」シート	
	S17-3-2	ログイン	流通制御サービスプロバイダー:ログイン	「S17-3-2」シート	
	S17-3-3	Region開始申請取得	流通制御サービスプロバイダー:Region開 始申請を取得する	「S17-3-3」シート	
	S17-3-4	Region開始申請承認	流通制御サービスプロバイダー:Region開 始申請を承認する。	「S17-3-4」シート	
	STEP1-7動 作確認(運 動AP)	動作確認(運動アプリ)	Region参加状況を確認する。(APP1:運動 アプリ)	「STEP1-7動作確認(APP1: 運動アプリ)」シート	
	STEP1-7動 作確認(見 守りAP)	動作確認(見守りアプリ)	Region参加状況を確認する。(APP2:見守りアプリ)	「STEP1-7動作確認(APP2: 見守りアプリ)」シート	
	STEP1-7動 作確認 (Region)	動作確認(Region)	Region開始状況を確認する。	「STEP1-7動作確認 (Region)」シート	

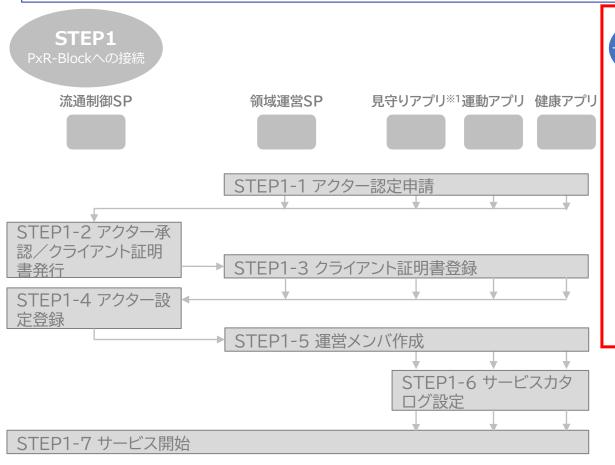
手順概説

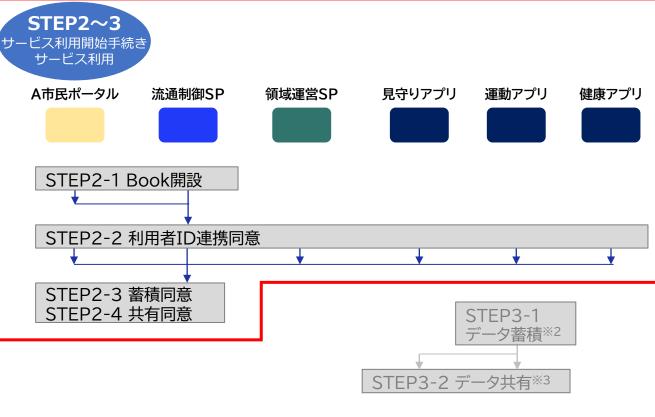
STEP2 サービス利用開始手続き

STEP2 サービス利用開始手続き 作業概要



- ◆ STEP2では利用者ID連携同意を経てデータの蓄積同意及び共有同意を実施します。
 - ◆ 接続事業者様にて実際に作業される際は、それぞれの環境に応じた設定値を適用してください。





※1 前回セミナーでは運動アプリのみ構築しましたが、本セミナーは 見守りアプリも構築済みという前提でご説明します。 ※2 本セミナーでは運動アプリにおける活動量データの蓄積のみ抜粋してご説明します。

※3 本セミナーでは運動アプリから見守りアプリへの共有のみ抜粋してご説明します。

STEP2 サービス利用開始手続き STEP2-1 Book開設 作業一覧



- ◆ 住民がMy-Condition-Bookを開設してサービス利用規約に同意する。
- ◆ STEP2-1作業一覧

対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP2-1手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
STEP2		ログイン	流通制御サービスプロバイダー:ログイン	「S21-1-1」シート	
サービ利用規	S/1-1-/	MCBの開設	流通制御サービスプロバイダー:My- Condition-Bookの開設	「S21-1-2」シート	
同意	S21-1-3	オペレータIDの取得	流通制御サービスプロバイダー: オペレータ IDを取得	「S21-1-3」シート	
	S21-1-4	パスワード変更	流通制御サービスプロバイダー:パスワード変更(※必要に応じ実施)	「S21-1-4」シート	
	S21-1-5	ログイン	個人:ログイン。	「S21-1-5」シート	
	S21-1-6	Region利用者ID連携 の実施	個人:Region利用者ID連携の実施。	「S21-1-6」シート	
	S21-1-7	Region利用規約のコー ド取得	流通制御サービスプロバイダー:Region利用規約のコードを取得。(※必要に応じ実施)	「S21-1-7」シート	
	S21-1-8	Region利用規約の同意	個人:Region利用規約に同意。	「S21-1-8」シート	
	動作確認	Book開設確認	Book開設、Region利用者ID連携状況を確認 する。	「STEP2-1」シート	

前回の構築事業者様向け セミナーの中で設定した 「Region利用者連携バッ チ(cooperate-regionbatch)」が必要

STEP2 サービス利用開始手続き STEP2-2 利用者ID連携同意 作業一覧



- ◆ 住民がアプリケーション利用者ID連携に同意する
- ◆ STEP2-2作業一覧

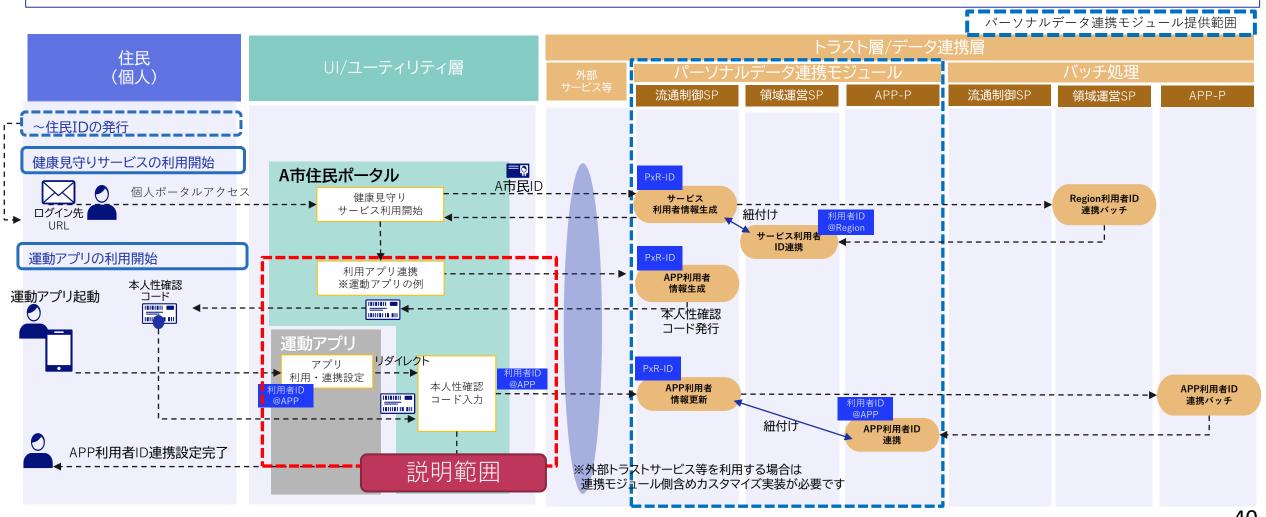
対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP2-2手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説	
STEP2-2 利用者ID 連携同意	S22-1-1	ログイン	個人:ログイン。	「S22-1-1」シート		
	S22-1-2	利用者ID連携申請	個人:アプリケーションとの利用者ID連携申 請。(APP1:運動アプリ)	「S22-1-2」シート	0	前回の構築事業者様向 セミナーの中で設定し: 「利用者作成バッチ
	S22-1-3	ログイン	アプリケーションプロバイダー:ログイン。 (APP1:運動アプリ)	「S22-1-3」シート	0	
	S22-1-4	URL発行	アプリケーションプロバイダー:URLを発行。 (APP1:運動アプリ)	「S22-1-4」シート	0	
	S22-1-5	リダイレクトチェック	個人:リダイレクトの不正チェック。 (APP1:運動アプリ)	「S22-1-5」シート	0	
	S22-1-6	本人性確認	個人:本人性確認コードの認証。(APP1: 運動アプリ)	「S22-1-6」シート	0	
	S22-1-7	利用者ID連携の実施	個人:利用者ID連携の実施。(APP1:運動 アプリ)	「S22-1-7」シート	0	「利用有作成ハツ (create-user-batch) 必要
	S22-1-8	連携の確認	個人:連携状況を確認。(APP1:運動アプ リ)	「S22-1-8」シート		
	S22-2-1~ S22-2-8	同様の作業をAPP2:見る	守りアプリに対しても実施	「S22-2-1」シート〜 「S22-2-8」シート		

STEP2 サービス利用開始手続き 手順S22-1-2~S22-1-7 利用者ID連携フローのイメージ(1/2)



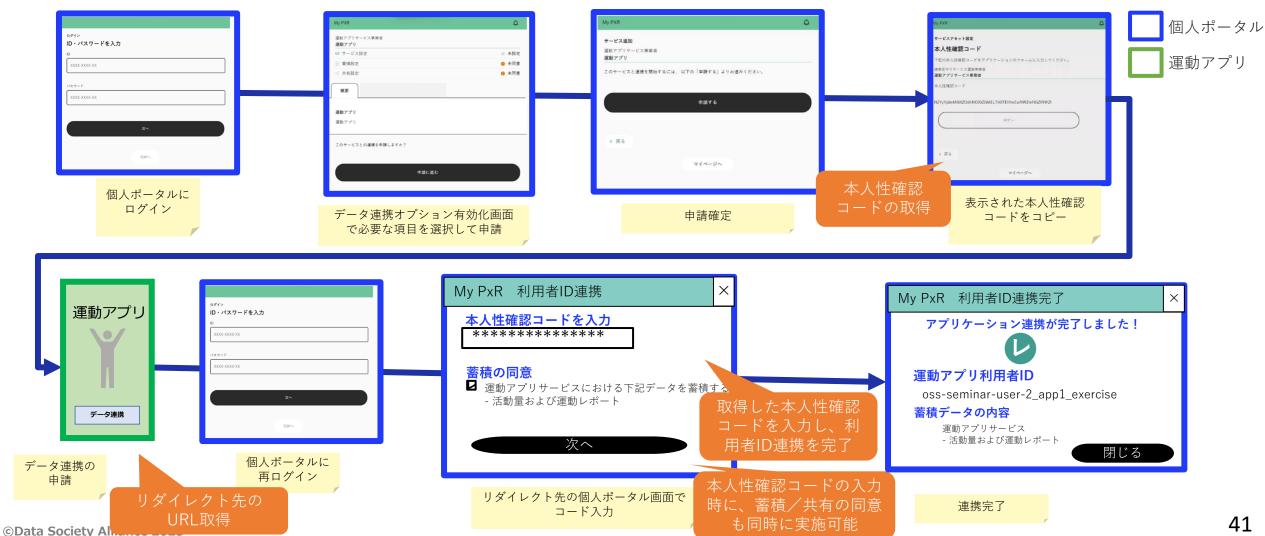
- ◆ アクターの有効化完了後、利用者IDの連携を行うことでパーソナルデータの連携が可能となります。
- ◆ 利用者ID連携の想定フローは下記の通り。各アプリケーションは利用者ID連携に伴う実装が必要となります。



STEP2 サービス利用開始手続き 手順S22-1-2~S22-1-7 利用者ID連携フローのイメージ(2/2)



- ◆ 提供しているモジュールにはUIが含まれていません。
- 利用者ID連携は以下参考イメージのようにUIの個別実装が必要です。



STEP2 サービス利用開始手続き STEP2-3 蓄積同意 作業一覧



- ◆ 住民がデータの蓄積に同意する。
- ◆ STEP2-3作業一覧

対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP2-3手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
STEP2-3	S23-1-1	ログイン	流通制御サービスプロバイダー:ログイン。	「S23-1-1」シート	
蓄積同意	S23-1-2	蓄積コードを取得	流通制御サービスプロバイダー:蓄積コード を取得。(APP1:運動アプリ)	「S23-1-2」シート	
	S23-1-3	storeCatalogIdを取得	流通制御サービスプロバイダー:蓄積コード のstoreCatalogIdを取得。(APP1:運動ア プリ)	「S23-1-3」シート	
	S23-1-4~ S23-1-5	同様の作業をAPP2:見守りアプリに対しても実施		「S23-1-4」シート~ 「S23-1-5」シート	
	S23-1-6	ログイン	個人:ログイン	「S23-1-6」シート	
	S23-1-7	蓄積同意(運動AP)	個人:蓄積の同意。(APP1:運動アプリ)	「S23-1-7」シート	
	S23-1-8	蓄積同意(見守りAP)	個人:蓄積の同意。(APP2:運動アプリ)	「S23-1-8」シート	
	S23-1-9	蓄積同意状況の確認 (運動AP)	流通制御サービスプロバイダー:蓄積同意状 況の確認(APP1:運動アプリ)	「S23-1-9」シート	
	S23-1-10	蓄積同意状況の確認 (見守りAP)	流通制御サービスプロバイダー:蓄積同意状況の確認(APP2:見守りアプリ)	「S23-1-10」シート	

©Data Society Alliance 2023

STEP2 サービス利用開始手続き STEP2-4 共有同意 作業一覧



- ◆ 住民がデータの共有に同意する。
- ◆ STEP2-4作業一覧

対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP2-4手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
STEP2-4 共有同意	S24-1-1	ログイン	流通制御サービスプロバイダー:ログイン。	「S22-1-1」シート	
	S24-1-2	共有コードを取得	流通制御サービスプロバイダー:共有コード を取得。(APP2:見守りアプリ)	「S22-1-2」シート	
	S24-1-3	shareCatalogIdを取 得	流通制御サービスプロバイダー:共有コードのshareCatalogIdを取得。(APP2:見守りアプリ)	「S22-1-3」シート	
	S24-1-4	ログイン	個人:ログイン。	「S22-1-4」シート	
	S23-1-5	共有同意	個人:共有の同意。(APP2:見守りアプ リ)	「S22-1-5」シート	
	S23-1-6	共有同意状況の確認	流通制御サービスプロバイダー:共有同意状 況確認(APP2:見守りアプリ)	「S22-1-6」シート	

©Data Society Alliance 2023

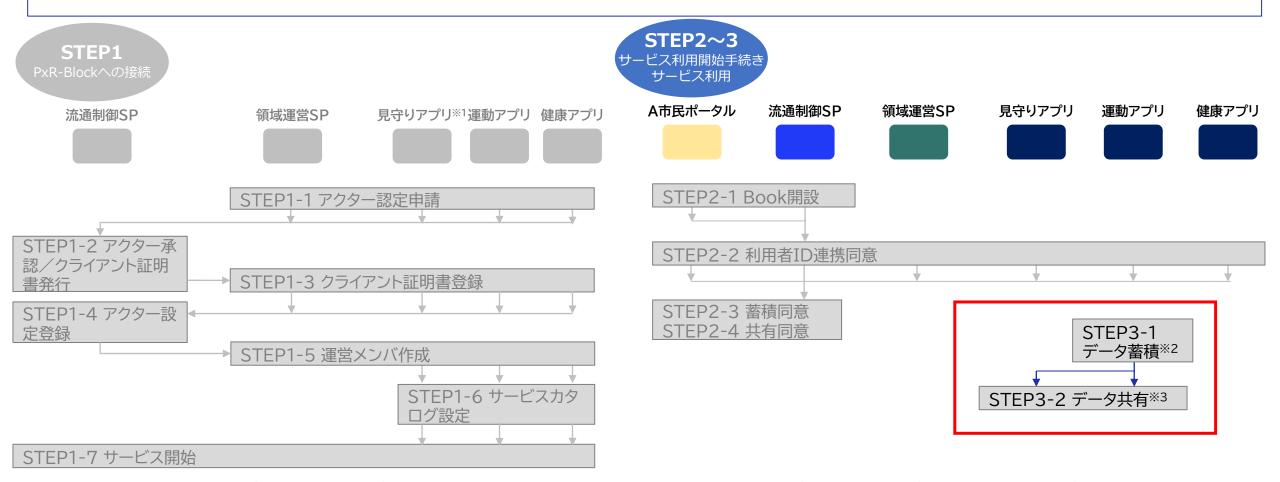
手順概説

STEP3 サービス利用

STEP3 サービス利用 作業概要



◆ STEP3ではSTEP2までに準備したサービスを利用開始し、各アプリケーションがパーソナルデータを蓄積及び 共有する作業を実施します。



※1 前回セミナーでは運動アプリのみ構築しましたが、本セミナーは 見守りアプリも構築済みという前提でご説明します。 ※2 本セミナーでは運動アプリにおける活動量データの蓄積のみ抜粋してご説明します。 ※3 本セミナーでは運動アプリから見守りアプリへの共有のみ抜粋してご説明します。

STEP3 サービス利用 STEP3-1 データ蓄積 作業一覧



- ◆ 住民がアプリを利用して運動量レポート、活動量等のデータを蓄積する。
- ◆ STEP3-1作業一覧

接続事業者向けセミナー_STEP3-1手順詳細.xlsx 対象ファイル

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説
STEP3-1 データ蓄 積	S31-1-1	ログイン	アプリケーションプロバイダー:ログイン。 (APP1:運動アプリ)	「S31-1-1」シート	
	S31-1-2	1 1 1 1 2 2 2 2 7 7 7 7 7 7	アプリケーションプロバイダー:利用者一覧 を取得。(APP1:運動アプリ)	「S31-1-2」シート	
	S31-1-3		アプリケーションプロバイダー:イベントの 蓄積。(APP1:運動アプリ:運動レポート、 活動量)	「S31-1-3」シート	
	S31-1-4	モノの蓄積	アプリケーションプロバイダー:モノの蓄積。 (APP1:運動アプリ:運動レポート、活動 量)	「S31-1-4」シート	
	S31-2-1~ S31-2-4	同様の作業をAPP2:見号	Fりアプリに対しても実施	「S31-2-1」シート〜 「S31-2-4」シート	
	動作確認	蓄積件数確認	個人:蓄積件数確認	「動作確認」シート	

STEP3 サービス利用 STEP3-2 データ共有 作業一覧



- ◆ 住民が見守りアプリを利用して運動アプリから活動量データの共有を受ける
- ◆ STEP3-2作業一覧

対象ファイル 接続事業者向けセミナー_STEP3-2手順詳細.xlsx

STEP No	手順No	作業概要	作業詳細	シート名	本資料での解説	
STEP3-2 データ共	S32-1-1	ログイン	アプリケーションプロバイダー:ログイン。 (APP2:見守りアプリ)	「S32-1-1」シート		前回の構築事業者様向け セミナーの中で設定した 「CToken連携バッチ (link-ctoken-batch)」が 必要
有	S32-1-2	/ (1342 / / / / / / / / / / / /	アプリケーションプロバイダー:共有のリク エスト。	「S32-1-2」シート		
	動作確認	共有件数確認	個人:共有件数確認	「動作確認」シート		

質疑応答

今後の活動のご案内について



パーソナルデータ連携モジュールのOSSコミュニティ立ち上げ

有志参加者による、パーソナルデータ連携モジュールのOSSコミュニティを立ち上げました。

• OSSコミュニティ運営組織にてGitHubやSlackを運営しています。 モジュール利用者様同士の情報共有の場として是非ご活用ください。

GitHub

URL: https://github.com/Personal-Data-Linkage-Module

Slack

URL: https://www.code4japan.org/activity/community

チャンネル名: #proj-cityos_auth

• その他お問合せ

構築方法やAPI利用方法など、技術的な質問についてはGitHubのIssueに登録をお願いいたします。

その他の個別のお問合せ・ご確認事項等については、下記DSA問い合わせ窓口までご連絡ください。

一般社団法人データ社会推進協議会 エリア・データ連携基盤事務局

URL: https://data-society-alliance.org/area-data/

